

## 【第四錦林小学校 公開授業 (R5.11.17) 指導助言】

(6年・総合的な学習の時間 「京都の魅力を発信しよう」 兼田 亮平 先生)

京都市総合教育センター 指導室  
主任指導主事 中村 友彦

### <単元について>

#### ■単元の目標について

- ・主な学習活動と、3つの資質・能力が一文で簡潔に表されており、内容としてもこれでよいと思います。育てたい資質・能力の詳細については、「単元の評価規準」の欄から読み取れ、その評価規準も書かれている内容でよいと思います。

#### ■単元構想について

- ・33時間で本当に足りるのかなというのが第一印象ですが、各活動に時間をかけてじっくりと取り組んでいるのでしょうか。追究課題(10時間)は、体験が充実しているだけに、特にせわしない感じを受けますが……。

→ 「体験」が「学び」になるためには、体験や調査等情報収集をした後に、それを整理・分析する時間をしっかりとることと、自分の考えをまとめて、一連の探究のプロセスを振り返る時間が大切です。また、体験(見学やお話を聞くなど)の後は、そこで感じたことや心に残ったことなどを友達とたくさん話し、体験を思い出して「味わい直す」時間も大切です。

- ・基本的な単元構想は、探究的になっていて、思考の流れとして不自然なところはありません。
- ・追究課題が終わるまでに「京都の魅力」について、一定の概念ができていると思われます。提案課題が「魅力を伝えよう」となっているので、その時点で、概念(伝える内容)とともに、伝えたいという「思い」も醸成されている必要があります。ものや場所だけでなく、「人」と直接関わり「思いや願い」に触れる場面はどれほどあったでしょうか。
- ・先生が決めたコースではなく、自分たちで行き先(紹介すること)を考えるというのがポイントですね。「自分で決める・選ぶ」ことが、主体性を引き出していると思います。
- ・学校行事の市内巡りと総合的な学習の時間と関連付けることで、市内巡りへの目的意識が高まり、そこから得られる学びも大きいですし、総合的な学習の中の体験活動としても非常に有意義です。
- ・本やネットで調べたことや人から聞いたことだけでなく、自ら足を運び、実際に見たことや感じたことをもとに魅力について考えていくことはとても大切なことです。

→ 「誰かのおすすめ」を紹介するのではなく、「誰が何と言おうと自分はこれがおすすめ」くらいの思いがないと、そこら辺の市販のガイドブックの廉価版になってしまいます。内容としては「小6」のレベルであっても、そこに一人一人の「らしさ」「思い」が入っていることに価値があるのだと思います。

- ・リーフレットにまとめ、読んでもらうことは、大変よいことだと思います。できれば、対面で「京都の魅力」について熱く語り、直接リアクションをもらい、リーフレットを手渡しするような場が

あれば言うことないと思います（33時間では難しいかもしれませんが）。

→ 直接かけられる褒め言葉や、一生懸命に聞いてもらえた経験は、児童の達成感・自己肯定感をぐんと高めます。

- **Forms** でアンケートを取り、それをみんなで読み合うのはとても良いですね。発信してそれで終わりという実践もありますが、そこまでが本来ワンセットだと思います。自己満足に終わるのでなく、自己評価と他者からの評価を受けて、しっかりと単元を振り返ってほしいと思います。

## <本時について>

### ■目標・めあてについて

- 本時の目標に「京都の魅力を『分かりやすく』伝えるため～」とありますが、「分かりやすく伝えるため」にたくさんの情報（魅力）からいくつかを精選したのでしょうか。この時間は、これまでの学習・経験と照らし合わせ、自分にとって「伝える価値のある魅力」を選んでいただいているように思います。「分かりやすく」の解釈にもよりますが、「分かりやすく伝える」のは、次時以降の課題ではないでしょうか。
- 児童に示しためあてにある「京都の魅力が伝わるように～」は、取りようによっては「伝えるべき魅力」と言えなくもないですし、児童は、「これがこの場所の魅力だ」というものを選んでいただいているように思います。
- 黒板に書いためあての「情報を選び」の部分を強調したのはよかったです。児童がめあてを理解することはもちろん大切ですが、その中でも特に意識することをあらためて示すことは、めあてを確認するときにとっても重要です。

### ■学習活動について

- 自分が魅力だと感じることにについて、「出す（書き出す）→選ぶ→交流する→（決め直す）」という流れは、それでいいと思います。
- 自分の考えを「広げる」ために、「マンダラート」が効果的でした。マンダラートというツール自体にどれほど慣れていたかはわかりませんが、児童もうまく使えていたように思います。広げるという目的のためには「ウェビング」などもよく使われますが、今回においてはより型として整理（見やすく）されたマンダラートにすることで「出す」「整理する」「分析する」といったことがしやすかったのではないのでしょうか。
- 2の活動では、考えを「出す」と「選ぶ」ことが行われました。マンダラートに書き出していく時間が12分ほど設定され、児童の求めで5分延長されました。また、その後どれを掲載するかを選ぶのですが、「2分で」という指示でした。基本的に、各活動の時間が短いと感じました。児童のいろいろな学ぶ姿を見られたことは参観者としては楽しかったのですが、本来ならば、この2の活動だけで1コマとっていいくらい、じっくりと腰を据えて取り組む内容かなと思います（このクラスの子の力、そしてこれまでの学習から得ている情報量（知識・経験）からすると、それだけ時間をかけても集中して取り組めると思います）。
- 上でも述べましたが、マンダラートを埋めていく時間（これまでの活動を思い出し、振り返る時間でもあります）をじっくり取りたいです。端末内のデータ（これまでの学び）を見返している子もいましたが、とてもいい姿だと思います。だからこそ、ある程度の時間が必要だと思います。

- ・これも述べましたが、2分で選ぶというのは酷に感じました。「2分で」と言われれば児童は2分で選ぶでしょうが、2分しか考えていないなりの選択しかできません。目標にも「情報を精選して」と、めあてにも「情報を選び」とあるわけですから、ここの「選択（判断）する」という学習活動に深い思考をもって取り組めると、より資質・能力の育成が図れるのではないのでしょうか。また、児童が画面上に○や×を付けたり、数字で順位付けをしたりしながら、それぞれのやり方で取捨選択をしていた姿は非常に良かったです（その選択にどういう理由があるのか、その判断に至るまでにどれだけ思考したかが重要）。
- ・3の活動について、交流の時間が7分の設定でした。これも、紹介をし合う（情報を共有する）だけが目的なら十分な時間かもしれませんが、指導案にあるように「選んだ理由を話し、助言しよう」ということを求めるなら、20～30分ととってもいいくらいの活動だと思います。実際には、ほぼ紹介と、あっても簡単な感想くらいに活動はとどまっていたように思います。
- ・画面を見せ合って交流していた様子は、慣れているなど感じました。ただ、4人を相手に話す（話し合う）には見づらさもあるので、本当に助言を言い合って議論をしようとするならば、画面共有（できるのでしょうか？）をしてもいいかなと感じました（一つの画面をみんなで見て、指さしながら話し合うのも良さがありますが）。
- ・リーフレットが端末に入っていていつでも共有でき、同時に共同作業できるのもとても良いと思います。
- ・上でも少し触れましたが、45分でやる内容としてはボリュームがありすぎて、一つ一つの活動がせわしなくなっているように思いました。公開授業ということで、児童の多様な学習活動や育っている力をたくさん見られたことは参観者にとってはよかったとも思いますが、同じ内容を2コマ（90分）でできれば、より質の高い学びになったのではと思います。

#### <おわりに>

GIGA 端末（ICT）をただ「使用」している授業ではなく、意図をもって「活用」されていた授業でした。総合的な学習で育てたい資質・能力をつけるため、単元や本時の目標を達成するために、端末が効果的に活用されていると感じました。ICTに限らず、道具や方法が「目標達成のために効果的であった」というためには、それを使用しなかった時と比べてどのような、どれだけのメリットがあるかを考える必要があります。そういう意味でも、本時で行われたような情報の処理（整理）や、情報をもとに思考するという点について、今回は端末を使用する意義が大きかったと思います。今後、広い意味での情報活用力という観点から求められる力は、まさに本時の目標にあった「集めた情報を精選する」ということだと思います。ただ選択するのではなく、高いレベルで「精選（判断）」できるようになるためには、深い思考（思考力と、それなりの思考時間）が必要です。たくさんの情報をもとに、一人で、または他者と協働的に「整理・分析」し「まとめ・表現」していけるよう、アナログ・デジタルをバランスよく駆使して、力をつけていけるといいですね。また、各児童が必要に応じて意図的に道具や方法を選択・活用していくような学習にもどんどん取り組み、目的に照らして自在に道具・方法を扱えるようにしていきましょう。「全員が一つの目的に向かって（主体的に）ばらばらのことをしている公開授業」というのも見てみたいです。

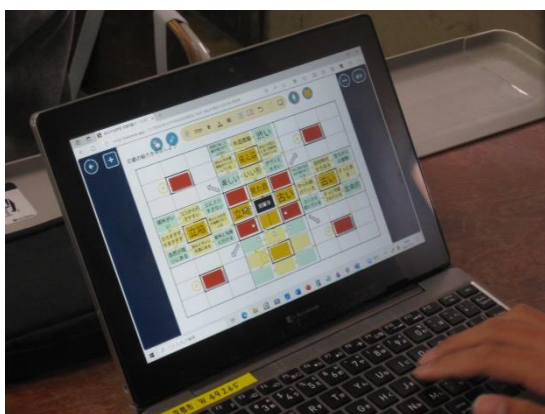
授業の公開、お疲れさまでした。わたしも大変勉強になりました。ありがとうございました。



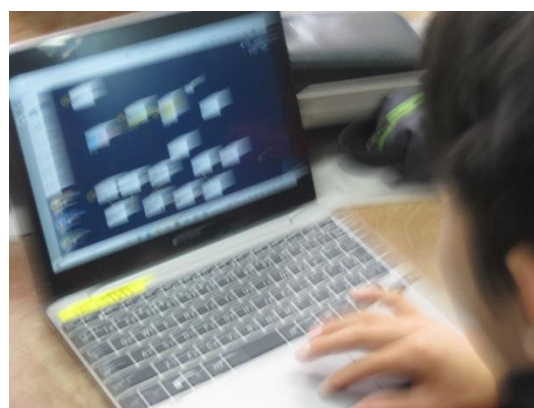
↑ めあての提示



↑ 一人学び (マンダラート)



↑ 一人学び (マンダラート)



↑ ぶれていますが、過去のデータを参考にしています



↑ 選ぶ (数字で優先順位パターン)



↑ 選ぶ (× (却下)・? (保留) など記号パターン)



↑ 交流の目的に応じて時間・方法・場の設定等の工夫を



↑ 情報を共有し、リーフレットを共同編集